

学習成果を把握(測定)する方法

	時期	方法	学習成果・学位授与方針との関連
法学部 (政治学科)	初年次教育	<p>政治学の基礎概念 I・II を必修科目とし、政治学入門演習を推奨科目としている。政治学の基礎概念 I・II については、アンケート調査を行っている。</p> <p>ほかに初年次向け科目として政治学入門演習(8 クラス)を提供している。これについては夏期休暇中に課題レポートを課し、添削を行うことによって、文献の読解力と文章の作成力とを診断している。その結果については、各クラス担当者で共有されている。</p>	<p>必修科目については 4 年次までに単位を修得できなければ、卒業できない。</p> <p>DP2「専門教育科目の必修科目および選択科目を履修することにより、政治学に係る専門知識を獲得」するための基盤形成教育に重点を置く。</p>
	基礎教育段階	<p>学生の関心の多様性に対応した幅広い基礎科目を提供している。</p>	<p>卒業までに 44 単位以上を習得する必要がある。</p> <p>DP1「基礎科目として開講される教養科目の履修により、政治学ないし社会科学の領域を超えた教養と学識を獲得」する教育に重点を置く。</p>
	専門教育段階	<p>学科会議で、各開設科目の受講者数にかんする情報にもとづいて、学生の政治学への関心の有り様を検討するとともに、専任教員の担当科目の成績分布にかんする情報を共有することで、学生の理解度を判断している。</p> <p>二・三年次学生に対しては専門演習を提供しており、各教員が、対面的指導を通じて、個々の学生の関心や適性を把握し、その能力開発を促進すべく務めている。</p> <p>また、東京都千代田区、沖縄県、北海道夕張市において課題解決型のフィールドワークを実施し、学生自ら、テーマの設定、データ収集、インタビューを通じて、座学で得た知識の応用、政策提言を行っている。担当教員は、受講者との集団生活・行動のなかで、彼らの学習能力・成果を測定し、その測定結果は、フィールドワークの最後に行われる「振り返り」のなかで、学生に伝えている。</p>	<p>自ら問題を発見し、対応策を考える自学自習の精神を習得させる。</p> <p>上記の DP2 に加えて、DP3「口頭報告ないしレポート・論文等によって、研究結果を取りまとめ報告することができる」および DP4「演習・ワークショップ等の場において積極的に討論するなど、コミュニケーションをはかることができる」教育に重点を置く。</p>
	卒業時	<p>卒業時まで ILAC 科目 44 単位以上、専門単位 88 単位以上を取得する必要がある。</p>	<p>左の要件のほか、上記の DP1, 2, 3, 4 全てを満たしていることが要求される。</p>